

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立上尾特別支援学校 事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	中学部・高等部生徒 119名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 (オリ・パラ推進事業・講演会)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの意義や価値等に対する理解・関心の向上 ・生涯を通じたスポーツへの主体的な参画の定着・拡大 ・児童生徒をはじめとした若者に対する、これからの社会に求められる資質・能力等の育成
5 取組内容	<p>(1)講師</p> <p>インドネシア2018アジアパラ競技大会 男子走り幅跳び 銀メダリスト 小久保 寛太 氏</p> <p>インドネシア2018アジアパラ競技大会 女子卓球 日本代表選手 檜山 七菜子 氏</p> <p>(2)当日の流れ</p> <p>①校長挨拶</p> <p>②講演（競技の説明、アジアパラ競技大会の説明など）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>小久保 寛太 選手</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>檜山 七菜子 選手</p> </div> </div> <p>③檜山選手によるデモンストレーション（卓球）</p>



④実技体験
・ボッチャ



・走り幅跳び



⑤講評
⑥謝辞

6 主な成果

- ・講演会を通し、スポーツの魅力や素晴らしさを感じることができた。
- ・スポーツを通して他国の人と交流を図ることができ、友達を増やすことができることが学べた。
- ・実際に体を動かし経験することで、スポーツの楽しさを実感することができた。

7実践において工夫した点
(事業の特色)

- ・講師依頼については埼玉県障害者スポーツ協会の協力をお願いした。
- ・本校の要望を事前に伝え、打ち合わせを行った。
- ・講師依頼文書についても本人及び保護者にもわたるように配慮を行った。
- ・講演会については生徒が集中しやすいように配置を考えたり、パワーポイントを活用するなど視覚情報をふんだんに取り入れ、活性を図った。
- ・デモンストレーションを計画し、生徒も楽しんで参加できる工夫を行った。体験活動はアスリートと一緒に体を動かし体験できるように内容等配慮を行った。

8主な課題等	<ul style="list-style-type: none">・講師を探すのが大変である。・予算の関係で、講演会を毎年行うのは難しい。
9来年度以降 の実施予定	<ul style="list-style-type: none">・講演会は予定していない。・ボッチャ体験は学部単位で継続して取り組んでいく。